



峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2737
 FAX 0553-20-2733

回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

ご意見・ご感想，情報提供はこちらまで。Email：saegusa-aszn@pref.yamanashi.lg.jp

「子どもから目を離さない，そらさない」

「本当ですか，知らなかった」「事件を起こしたわけではないし・・・」「深夜徘徊って何ですか？」「学校で何とかしてください」「そんなに言うんなら，あとは警察でやってください」と，というような反応がしばしば補導された子どもの親から返ってくるそうです。

これは，先月行われたスクールガード養成講習会における「犯罪の状況と見守りのポイント」と題する講演の一場面です。

わが子が補導されるということは，親の立場にすれば大きな衝撃です。親として直ぐには自分自身の問題として受け入れられず，咄嗟に先ほどのような反応をしてしまうのかもしれない。まだ事件には至らずとも，その前兆ともいえる行動がわが子に認められたのですから，他人事のように振る舞いたい気持も分からないではありません。問題は，その後の親の姿勢です。

子どもの行動に精一杯責任を取るか，それとも，親としての責任を曖昧にしてやり過ごしてしまうか，親の態度は今後の子どもの成長を大きく左右することになります。

実は，警察が関わるようになる以前にも，子育ての試練はこれまでに何回となくあったはず。しかし，幼児期，児童期初期の頃は小さなこととして，気にも留めなかったのかもしれない。何事にも節目があります，子育てにもここぞという節目が何度となく訪れます。その節目に対して，時には毅然として突き放し，時にはあたたかな心で寄り添い，時にはおおように構えるなどして，適切に対処してきたかどうかは今問われているのです。

適切に対処するためには，常に，わが子から目を離さず注意深く見ていることが大切です。成長とともに目をそらしたくなる時でも出てく

るでしょう。その時こそ，親としての本領が試される瞬間です。

わが子を信じようとする気持は大切ですが，だからといって，子どもの言うことを鵜呑みにしてはいないでしょうか。わが子を信じたいと思うあまり，周囲の意見に耳を閉ざしてはいないでしょうか。子どもはわが身を守るために，自分に都合の良いように話すこともあります。

なぜわが子だけが責められるのか，他の子だって同じことをしているのではないかと，行為の正当性を求めてはいないでしょうか。父親が(母親が)子育てに協力してくれないから，仕事が忙しくてそのくらいのことに構ってはいられないなどと，責任を逃れようとしてはいないでしょうか。

子どもの人格を，さまざまな側面からとらえることが大切です。わが子が可愛いからこそ，さまざまな意見に耳を傾ける姿勢が必要です。そこから親が知らなかった別の顔が見えてきます。接する人や置かれた状況に応じて表情を変化させるのは，大人も子どもも同じです。

しばらくして心が落ち着いてきたとき自問自答してはどうでしょう。どうしてわが子がこのような行動をするようになったのだろうか，どうすればこのような行動を止めさせることができるのだろうか，子どもを理解できていなかったのではないだろうか。

次に，誰かに相談してみてもいいでしょうか。学校・幼稚園の先生，警察，子育てに関する相談機関等，何度となく話しているうちに自然と心が整理されるものです。

育ての主体である親が何か具体的な行動を起こすことで，子どもが変わるきっかけがつかめるかもしれません。

この世でたった一人の大切な存在

「みんなの毎日が知りたいです。毎日どんな日を過ごしていますか？」

これは、エイズを発症し、23歳で亡くなった女性がブログに記したメッセージです。

11月6日、山梨大学医学部健康教育アドバイザーの山田七重先生を講師に招いて、山梨北中学校で3年生(159名)を対象にエイズ予防教育講演会が開かれました。

【要旨】

- ・ HIVウイルスに感染した血液や精液などの体液が、目、鼻、口、性器などの粘膜や皮膚に生じた傷を通して体内に入ると感染する。 性行為、輸血、ピアス・タトゥー
- ・ HIV感染者は、約10年間の潜伏期間を経て、徐々に免疫力が低下し、風邪から肺炎を引き起こしたり、ガンなどの病気にかかりやすくなったりして発症に至る。
- ・ たった一度の性行為でHIVに感染した例もある。
- ・ 日本は、先進国の中で唯一感染者が増加している。
- ・ 医療の発達で、「HIV = AIDS = 死」から「HIV AIDS 死」の時代。
- ・ しかし、治療薬には頭痛、腹痛、吐き気、下痢を伴う強い副作用がある。
- ・ コンドームを着用しても、正しく使用しなかったために感染。
- ・ 「不治の病になってかわいそう」は、感染者、患者にとって最もつらい言葉。きめつけないでほしい。
- ・ 「がんばって」という言葉はきらいです。精一杯頑張っているのに、何をこれ以上がんばるの？
- ・ 「一緒にがんばろうね」と言って欲しい。
- ・ 「自分を守ること」は「パートナーを守る」こと。



講演後、感想発表

当日は、学年委員会が主体となって講演会は運営され、宮本正明校長先生の話、長沼和人学年主任の話に続いて、講演会が始まりました。

性に関する講演であるために、多感な時期を過ごす中学生を対象とするには難しい内容もありましたが、講師のさらりとした語り口と事前調査に基づいた周到な準備、生徒の真剣に受けとめようとする姿勢が相まって、さわやかな雰囲気の中で進行しました。

また、生徒は全員が腰布団を体育館の床に敷いて座り、1時間の講演を身じろぎもせず話に集中していたのが印象的でした。

～ 交通事故事例講話のご案内 ～

山梨園芸高校では、交通安全教育の一環として「交通事故事例講話」を実施します。地域の方々にも参加を呼びかけています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1. 日時・場所 平成21年12月11日(金)午後1:20～ 山梨園芸高校体育館
2. 講師・演題 鈴木 徹 氏(走り高跳びプロ選手) 「片足切断からの復活」
3. その他 参加希望の方は下記担当までご連絡ください。

山梨園芸高校 TEL 055 - 262 - 4135 FAX 055 - 262 - 8205 (坂本 篤)



やまなしの教育振興プラン ～豊かな体験活動の推進～



ころ柿づくり

甲州市塩山松里地区の秋の風物詩といえば、ころ柿を干す鮮やかな朱色の風景が思い浮かびます。松里小学校では、地域の伝統産業を生かして、今年も全校児童がころ柿づくりを体験しました。本校のころ柿づくりは、昭和61年に始まって今年で24回目となるそうです。

1・2校時、6年生24名がJAフルーツ山梨職員の指導で、ころ柿づくりの手ほどきを受けました。めいめい大きな百目柿を片手に持ち、「ちょう」（がくの部分）を取り、小刀を使ってかたを丸く切り取った後で皮をむきます。そして、木綿糸を「しゅもく」に結わえ、イオウで燻蒸して干すだけにします。



きれいに吊されたころ柿

3・4校時、5年生以下の児童は、6年生が作業しやすいように準備してくれた柿の皮むきをしました。

武井今朝英校長先生は、「ころ柿づくりをしていると、自然と会話が生まれてきます。家族でころ柿づくりの作業をしながら、学校の話をする家庭も多いと思いますよ。」とおっしゃっていました。



初冬の日差しの中で皮むき作業



～山梨県立産業技術短期大学校 学園祭「産技祭」開催～

山梨県立産業技術短期大学校の学園祭「産技祭」が10月31日（土）に開催されました。「小学生ものづくり体験塾」や学生によるパフォーマンス・クイズ大会、コンサートライブの催しや模擬店、農業大学校の野菜の販売が行われました。



(風林火山塩山太鼓の演奏)

「小学生ものづくり体験塾」では、甲州市内の小学生がキーホルダーの製作やメロディカード作りなどに熱心に取り組んでいました。

また、今年は地元甲州市の「風林火山塩山太鼓」の迫力あるすばらしい演奏もあり、好天の中、小学生とその保護者、近隣の方々等が多数参加し盛大に行われました。



(小学生ものづくり体験塾：キーホルダー製作)

～山梨県立産業技術短期大学校 平成22年度一般入学検定試験～

産業技術短期大学校では平成22年度一般入学検定を実施します。

	出願期間	選考試験
前期日程	平成21年12月14日(月)～ 平成22年1月20日(水)(必着)	平成22年1月27日(水)
後期日程	平成22年 3月 3日(水)～ 3月16日(火)(郵送締切日・必着) 3月18日(木)(持参締切日・正午必着)	平成22年3月23日(火)

お問い合わせ：山梨県立産業技術短期大学校 教務学生課 電話0553(32)5201

石和高校生の活躍

トキめき新潟国体での熱戦!!

黄金色に輝く稲穂が、どこまでも続く壮観な新潟の地で繰り広げられた第 64 回国民体育大会に、ソフトテニス・自転車・ライフル射撃競技、そして本校体育局にはありませんがボウリング少年女子競技を含む、計 10 名の生徒が出場しました。

自転車競技種目 4000m 速度競走で準優勝、ライフル射撃種目 10m エアライフル立射 20 発競技で 8 位、同種目 10m ビームライフル立射 60 発競技で 5 位の、計 3 名が入賞を果たしました。各ブロック大会を勝ち抜いた強豪に臆することなく、すべての選手がその持てる力を粘り強く発揮してくれました。



4000m 速度競走 弥彦村営弥彦競輪場にて

入賞選手のコメント

自転車

インターハイでは、同種目 3 位でしたが、国体に向けて練習を頑張ってきました。結果は 2 位と優勝することはできなかったものの 1 つ順位を上げられ嬉しかったです。大学でも競技を続け、成人でも国体を目指します。

エアライフル

今年が入賞することすらできなかった大会があったので、高校最後の大会では必ず優勝し関係者の方に恩返しをしたいと思っていました。思い通りの試合ができませんでしたが、8 位入賞となり、とても嬉しかったです。

ビームライフル

今回の国体が僕のビームライフル競技最後の大会だったので、入賞できてうれしかったです。しかし、最終弾を外さなければ、順位を落とさずにさらによい結果が出せたはずでした。来年はエア競技なので、そこでリベンジしたいと思います。

全国総合文化祭・三重大会に参加

第 33 回全国総合文化祭に参加した本校ボランティア部は、ペットボトルのキャップ・使い捨て割り箸の回収などのリサイクル活動を主体に、地域の行事の手伝いや募金活動をしています。

先月には、これまでの地域福祉活動・海外支援活動が認められ、笛吹市制 5 周年表彰（まちづくり表彰）を受賞しました。



キャップは月一回回収してもらいます